

# 久美浜中学校同窓会報

## 京丹後市立久美浜中学校同窓会

〒629-3405 京都府京丹後市久美浜町640番地 TEL(0772)82-0079 FAX(0772)82-1650  
http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-jhs/ E-mail: kumihama-jhs@kyoto-be.ne.jp

第2号



### ご挨拶



同窓会長  
清水 義夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様方におかれましては、ご家族お揃いでよいお正月をお迎えの事と存じます。

創刊号を発刊してから、あつという間に一年が過ぎました。

この間、本会におきましては、記念誌部会を中心に、本年四月の発行を目指して多くの編集委員さんにお世話になりながら、粉骨砕身の献身的努力を戴いております。ご尽力に心から厚くお礼を申し上げます。

久美浜中学校も二年目を迎え、大きな学校行事に招かれて参観していても、各学年共三クラスという沢山の集団の中で、体育祭、合唱祭等お互いに切磋琢磨しながら、旺盛な学習意欲と団結心で結ばれて一生懸命頑張る姿に心を打たれます。

昨年から新たな歴史がスタートしました。久美浜を愛する多くの方々からもエールをいただいています。歴史をしつかり後世に伝えるためにも、各世帯に必ずや一冊の「記念誌」を常備していただき、地域を挙げて久美浜中学校をしつかり支えていきたいと思えます。



### 「発足記念誌」への思い



学校長  
高野 光彦

開校して早2年目が終わろうとしています。今年は、開校から積み重ねてきた教育活動を土台にして、昨年度実施できなかった4月の三年生の修学旅行や一・二年生の校外学習を実施するなど、年間を見通した教育活動を展開することができるようになりました。

とりわけ、合唱祭・体育祭は、保護者や地域の方々から高い評価をいただきました。生徒たちも達成感が生まれました。その主な背景は二つあります。

一つ目は、生徒会がしっかりとした方針と要項を立てて運営を行い、生徒たちが毎日の練習を通して心が一つとなったこと。

二つ目は、多くの保護者や地域の方々に来ていただき、生徒たちががんばりを一生懸命声援していただいたことです。

また、私は学校行事などを通して地域が一つにまとまっていくことを実感しました。本校の教育活動の充実発展に繋がっていることを確信しました。

この度、本校同窓会が「発足記念誌」を作られます。必ずや、この記念誌を通して卒業生や地域がよく知り合うことにより、「きずな」がますます深くなるものと思えます。学校でも大いに活用したいと考えています。

よろしくお願ひ申し上げます。

### 記念誌編集に携わって

同窓会顧問・記念誌部会長  
(前久美浜中学校長)

小西 康徳

同窓会では、一昨年九月より「新生久美浜中学校発足記念誌」編集部会(部員十八名、編集・写真構成・庶務会計の三グループ)で、編集・制作活動に取り組んでまいりました。

この間、久美浜町区長会、老人会、京阪神久美浜会、東京久美浜会など各方面のご支援により、多くの町民の皆様から写真

や資料を提供していただき、現在制作の最終段階に入っています。

この記念誌は、本校が昭和二十二年の新学校制度により、松江中学校・湊中学校・久美浜中学校・熊野第一中学校・佐濃中学校の五中学校からスタートし、平成二十四年三月末日で六十五年の歴史に幕を閉じた足跡をたどっています。

長い歴史の中には、同窓生一人一人の懐かしい思い出が多々あるかと思えます。今

### 鮮やかな時を作る生徒たち



(作家・元本校教諭)  
瀬尾 まい

私が久美浜中学校で働いていたのは、五年ほど前のことだが、今でも季節が変わる瞬間にふと久美浜のことを思い出す。

現在住んでいる町にも四季はあるけれど、久美浜はひとときわ季節がさびりした場所だった。そして、中学校ではその折々に行事があり、生徒たちが生き生きと動いていた。

春には入学式に卒業式。行事の準備で生徒たちは意外に働きもの的一面を見せてくれる。

梅雨を迎える前には合唱祭。照れが出てくる年頃でありながらも、精いっぱい歌う声に思わず

聞きはれてしまった。

夏になると駅伝大会に向けて練習が開始される。私は未経験どころか、走れもしないのに陸上部の顧問をしていた。ただ生徒と一緒に走っていただけだけど、朝の久美浜の町中や夕暮れの山道を走るのすがすがしかった。自転車で誘導してはいたはずが、いつしか追いつけなくなって坂道で後ろから生徒に押しもたつたこともあった。案外手がかかる教師だったのかもしれない。

秋には体育祭。自分の役割を張り切った果たそうとする生徒たち。このころから、みんなにぐんとまとまりが出てくる。そうなる、一年の終わりに向けて加速するようにクラスが一つになっていく。

もちろん、何かをやろうとするたびに、ぶつかりあっていることが起きた。でも、それは必死になるからこそで、誰もがみんなやり逃げしたいという思いを持って

いるから、さらに懸命に何とかしようとして動き出す。その姿を思い出だけで、心のどこかがいまだに高鳴る。普通に過ごしていると、毎日がつらかり流れていくだけのこともある。だけど、生徒たちは昨日と今日が全く別の日であることを教えてくれる。どうにもならない苦しい日があっても、中学校には、また明日という新しい日が出てくる。そこへ向かおうとする中学生の姿は希望に満ち輝いている。

新しくなった久美浜中学校でも、生徒たちはまた一日一日鮮やかな時を作っているはずだ。

そんな久美浜の日々が詰まった記念誌。目にするのが楽しみです。

(プロフィール)

小説家。大阪府出身。大谷女子大学文学部卒業。平成17年4月久美浜中学校に着任。5年間、国語科教師として勤務。同年退職。その後、多数の作品を発表し受賞されている。



「記念誌」購入申込の最終締切は2月13日金(1冊2,500円)

申し込みは、各集落の同窓会地区委員(裏面に記載)か、直接久美浜中学校教頭(電話0772-82-0079)までお願いします。

同窓会地区委員名簿

Table listing names of alumni members categorized by region: 一区 (1st District), 二区 (2nd District), 海部 (Sea Bore), 川上 (Kawakami), 神野 (Kannobu), 田村 (Tagami), 湊 (Minato).



美しく力強い全校生の大合唱、感動!

再配置2年目を迎える久美浜中学校は、久美浜町唯一の中学校として、生徒たちが「ふるさと久美浜町」を深く理解し、また、生徒たちの活動を「地域へ発信」して、地域の皆様と共に生徒たちを育む学校であることを願っています。

具体的には、6月の合唱祭、9月の体育祭、そして、地域でお世話になった地域調べ活動(1年)、職場体験活動(2年)、地域ふれあいサロン活動(3年)など、日頃の学習成果や課題を学び合う11月の学習発表会を中心に、学校と地域の双方の交流と発信に努めています。



「再配置2年目の落ち着きも感じられ、どの学年もよく練習が出来ていてすばらしい歌声でした。学年が上がるにつれて完成度も上がっていました。特に、三年生の学年合唱は胸うたれました。一年生の健闘も目立ちました。全校合唱感動しました。」



青・黄・赤、みんなの声援でスタート!

「突然の雨にもめげず、どの子も精一杯がんばる姿が感動的でした。昨年以上に各ブロックとも、ハイタッチをしたり、相手チームにも声援を送る姿に、勝負の厳しさがあっても、お互いをたたえる気持ちも伝わってきました。本当にどのブロックも勝たせてあげたいくらいすばらしい体育祭でした。今後も久美浜の伝統にして下さい。」



地域を学び、堂々の発表!

「今日まで、クラスでの合唱をまとめる大変さを語り、スピーチを覚え、やっとホツとしていくことでしょう。本当に一つのことを成し遂げることの大きなエネルギーを感じました。ありがとございしました。魅せる高龍魂、久しぶりに見せて頂き、とてもなつかしく思いました。これからも大切にして頂きたいと思っております。」

活動実績等につきましては、本校のホームページをご覧ください。 ◆編集後記 第二号をお届けします。会員の方々の思いや母校への想いなどをお伝えする予定でしたが、記念誌発行の最終段階を迎えていますので、特集号にしました。 会員との交流を図るため、二つの取り組みを行います。 (ホームページの開設) 中学校の協力を得て、「同窓会のページ」を開設します。 (郵便振替口座の開設) 久美浜町外からの記念誌購入申込にご利用ください。 (申込最終締切 二月十三日(金)) 事務局への電話申込 記念誌送付の際所定の「振込申込用紙」を同封、折り返し事務局まで送金。 ■価格は、一冊二千五百円 ■送料は、一冊五百円 (日本郵便・レターパックプラス) (申込・お問い合わせ先) 記念誌事務局 久美浜中学校教頭 (電話 0772・82・0079)



必ず勝つぞ、久美中チーム!